

# 恐竜オブジェによるこそ

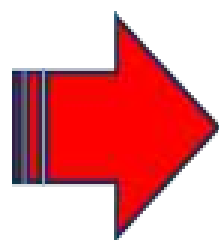
画像をタップしてね

ティラノサウルス科の一種



長崎みなとメディカル  
センター(市民病院)前

23 km

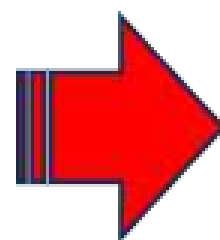


鎧竜の一種



三和交番前(栄上)

10 km

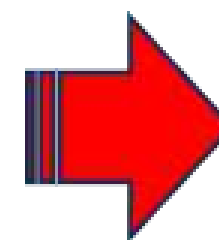


ハドロサウルス科の一種



野母崎文化センター前

200 m



ティラノサウルス科の一種



恐竜博物館前

ゴール

## ティラノサウルス科の一種

8100万年前の白亜紀後期の長崎市にいた肉食恐竜で、獣脚類(じゅうきやくるい)と呼ばれるグループに属します。

強力な顎と折れにくい歯を持っており、獲物を骨ごと食べることができたと考えられています。

2014年に長崎市で発見された2本の歯の化石は、全長10mを超える大型種のものと考えられており、国内で初めての発見となりました。

この発見により、日本にもティラノサウルス・レックスに近い種類の大型肉食恐竜が生息していたことがわかりました。



## 鎧竜の一種

8100万年前の白亜紀後期の長崎市にいた植物食恐竜で、鎧竜類(よろいりゅうるい)と呼ばれるグループに属します。

背中から尾にかけて鎧のようなもので覆われているのが特徴です。尾にコブのようなものがある種類では、棒のように振り回して、肉食恐竜に抵抗していたと考えられています。

2013年に長崎市で発見された歯の化石は、北海道夕張市や富山県富山市、兵庫県丹波市、熊本県御船町に次ぐ、国内で5例目の発見となりました。

日本の鎧竜のことを知るための貴重な化石とされています。



設置場所: 三和交番前(栄上)

## ハドロサウルス科の一種

8100万年前の白亜紀後期の長崎市にいた植物食恐竜で、鳥脚類(ちょうきやくるい)と呼ばれるグループに属します。

口先がカモのクチバシのような形であることから、カモノハシ竜とも呼ばれます。

2004年に長崎市で発見された大腿骨の化石は、長崎県で初めて発見された恐竜化石とされており、その後も同じグループに属すると考えられる恐竜の化石の発見が続いたことから、たくさんの鳥脚類が長崎市周辺に生息していたことがわかりました。



設置場所:野母崎文化センター前

## ティラノサウルス科の一種

8100万年前の白亜紀後期の長崎市にいた肉食恐竜で、獣脚類(じゅうきやくるい)と呼ばれるグループに属します。

強力な顎と折れにくい歯を持っており、獲物を骨ごと食べることができたと考えられています。

2014年に長崎市で発見された2本の歯の化石は、全長10mを超える大型種のものと考えられており、国内で初めての発見となりました。

この発見により、日本にもティラノサウルス・レックスに近い種類の大型肉食恐竜が生息していたことがわかりました。



設置場所: 恐竜博物館前